

# 令和4年度第5回関市国民健康保険運営協議会議事録

司会 保険年金課長

午後1時30分開会

- ・市民環境部長あいさつ
- ・会長あいさつ
- ・議事

規定により会長が議長となり、議事を進行する。

議長 議題1 令和4年度関市国民健康保険特別会計(事業勘定)3月補正予算について、事務局から説明をお願いします。

事務局 議題1 令和4年度関市国民健康保険特別会計(事業勘定)3月補正予算について説明する。

歳入歳出それぞれ24万4千円増額し、予算総額を99億276万9千円とするものです。

歳入については、国民健康保険税の減額、特別調整交付金のへき地診療所分の増額、一般会計繰入金のうち保険基盤安定繰入金、財政安定化支援事業繰入金、福祉波及分等繰入金、未就学児均等割保険税繰入金の増額、基金繰入金は一般会計繰入金が増額になったことに伴い減額するものです。

歳出については、特別調整交付金へき地診療所分を直診勘定へ繰り出すため、繰出金を増額するものです。

議長 ただいまの説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、議題1について採決を行います。  
提案どおりでご承認いただける方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

承認多数と認め、規則第3条第4項に定める、出席委員の過半数をもって承認議決したことを報告します。

続きまして、議題2 令和4年度関市国民健康保険特別会計(直診勘定)3月補正予算について、事務局から説明をお願いします。

事務局 議題2 令和4年度関市国民健康保険特別会計（直診勘定）3月補正予算について説明する。

歳入につきましては、へき地診療所運営費にかかる調整交付金の額が確定したことにより、事業勘定を経由して直診勘定に交付されている事業勘定繰入金を増額し、一般会計繰入金を減額するものです。

歳出は、施設管理費について一般会計繰入金から事業勘定繰入金へ財源変更するものです。

津保川診療所電気温水器設置事業については、繰越明許を行っております。

議長 ただ今の説明について、ご意見はありませんか。

ご意見がないようですので、議題2につきまして、採決を行います。提案どおりでご承認いただける方は挙手をお願いします。

（全員挙手）

承認多数と認め、規則第3条第4項に定める、出席委員の過半数をもって承認議決したことを報告します。

続きまして、議題3 令和5年度関市国民健康保険特別会計（事業勘定）当初予算について、事務局から説明をお願いします。

事務局 議題3 令和5年度関市国民健康保険特別会計（事業勘定）当初予算について説明する。

歳入につきまして、国民健康保険税は収納率を現年度分96%、過年度分約20%で見込んでおります。国庫支出金については、出産育児一時金の支給額が4月から80,000円引き上げられることに伴い、1件あたり5,000円の臨時補助金が交付されるものです。

歳出につきまして、出産育児一時金が4月より420,000円から80,000円引き上げられますので、1件500,000円で計上しております。事業費納付金については、1月に本算定額の通知がありまして、仮算定額より5,191万円ほど下がりました。令和4年度と比較すると2億5,000万円の減となります。

歳入、歳出ともに合計95億4,020万円となります。

議 長	<p>ただいまの説明について、ご質問、ご意見はございませんか。</p> <p>ご意見がないようですので、議題3について採決を行います。提案どおりでご承認いただける方は挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>承認多数と認め、規則第3条第4項に定める、出席委員の過半数をもって承認議決したことを報告いたします。</p> <p>続きまして、議題4 令和5年度関市国民健康保険特別会計（直診勘定）当初予算について、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>議題4 令和5年度関市国民健康保険特別会計（直診勘定）当初予算について説明する。</p> <p>歳入について、診療収入の外来収入の減は決算等を参考に実情に合わせたことによるものです。その他診療報酬の増は、新型コロナウイルスワクチン接種に係る保健事業受託収入によるものです。事業勘定繰入金の減額は医療機器購入の減少によるものです。諸収入の貸付金元利収入は、津保川診療所への貸付金の返金によるもので、運転資金等として年度当初に貸付、年度末に返還しているものです。市債につきましても、医療機器購入費用の財源の内、補助金交付対象とならない2分の1の額についてのもので、過疎債となっております。</p> <p>歳出について、総務費の委託料は保守点検、津保川診療所の指定管理料や中濃厚生病院からの医師派遣に伴うものなどです。医業費の公債費は医療機器の購入費の財源として借り入れた市債の返済等です。医業費の需用費の減額は薬品費の減少によるものです。備品購入費は減額となっておりますが、医療機器購入計画に基づき医療機器の購入をしているものです。</p> <p>歳入歳出の予算総額は、3億4,960万円となっております。</p>
議 長	<p>ただいまの説明について、ご質問、ご意見はございませんか。</p> <p>ご意見がないようですので、議題4につきましても、採決を行います。提案どおりでご承認いただける方は挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>

承認多数と認め、規則第3条第4項に定める、出席委員の過半数をもって承認議決したことを報告いたします。

続きまして、議題5 関市国民健康保険条例の一部改正について、事務局から説明をお願いします。

事務局 議題5 関市国民健康保険条例の一部改正について、説明する。

健康保険法施行令の改正に伴い、出産育児一時金の支給額を408,000円から、488,000円に引き上げるものです。

これにより、産科医療補償制度の加算対象となる出産に係る出産育児一時金の支給額は500,000円となります。

議長 ただいまの説明について、ご質問、ご意見はありませんか。

ご意見がないようですので、議題5につきまして、採決を行います。提案どおりでご承認いただける方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

承認多数と認め、規則第3条第4項に定める、出席委員の過半数をもって承認議決したことを報告いたします。

続きまして、議題6 保健事業について、事務局から説明をお願いします。

事務局 議題6 保健事業について、説明する。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業について、75歳以上の後期高齢者の方は、後期高齢者医療保険に切り替わることを節目に国保の保健事業や65歳以上の方の介護予防事業が途切れてしまうのではないかという現状がありました。また、自治体の中でも、それぞれの課が法に基づいて色々な事業を高齢者に向けてやっていることでもっと連携をとった方がいいのではないかという課題もありました。そこでこういったことを無くし切れ目なくつなぐ事業として令和6年度までにすべての市町村で一体的な事業というものが実施されることになりまして、関市では昨年度から開始をしています。保険年金課では、健診や医療や介護のデータを集計するシステムを所有しておりまして、これらを分析したデータを活用しながら後期高齢者にアプロー

チを行う事業に取り組んでいます。事業内容としては、集団へのアプローチと個人へのアプローチをやっておりまして、日常生活圏域の一つをモデル地区として実施しています。今年度は瀬尻地区と西部地区で実施しました。その取組結果が9ページからの資料になります。最初にハイリスクアプローチ健康状態不明者訪問とありますが、これは医療と介護の利用が無く、また、すこやか健診（後期高齢者の健診）も未受診といういわゆるどこにもつながっていないのではないかと推測される高齢者の方へのアプローチになります。対象の地区の中で対象者は86名いらっしゃいまして、その全員を訪問して状況把握を行いました。約2割の方を何らかの支援が必要として、高齢者の支援を行う専門機関、地域包括支援センターに引き継ぎを行いました。訪問したことで認知症状とうつ状態にある高齢者の方を発見し、必要なサービスにつないだ事例もございました。医療や介護等につないでない方の実態把握ができ、支援につなげることができたのは、この事業の趣旨である連携という部分が果たせたのではないかと考えております。

また、この健康状態不明者の訪問で注目していたことは歯と健康の関係です。昨年度は安桜、倉知地区の同じ条件の健康状態不明者の方を訪問させていただいたんですが、その時歯を定期的にお手入れしている方は、元気な方が多いのではないかとという特徴がみられました。そこで今年度はそれが裏付けできないかということで、訪問時にかかりつけ歯科医の有無などを確認してきました。その結果ではかかりつけ歯科を持つ方は3割ほどでした。見守りだったり、お体が少し心配でフォローにつないだ方の中でかかりつけ歯科医を持つ方は2名ということで、少ない結果となりました。これだけではまだ実数も少ないため確実とは言えませんが、やはり歯を大事にすることが介護予防につながっている可能性もあるのではないかと、次年度も引き続きこういった確認をしていきたいと考えておりますし、歯科検診の普及啓発も他の保健部門と連携して行っていけるとよいと考えております。また対象者の方で、病気もなく病院も行かずお元気な方というのは、趣味や仕事など生きがいを持っている活発な方が実際お会いすると多かったので、生涯現役で活躍できる場や人と交流できる場が必要であるということも実態から分かる取り組みとなりました。こうしたことも高齢福祉課などの介護予防事業につなげていけるとよいと考え検討しております。

続きまして、ポピュレーションアプローチについてですが、集団へのアプローチでは、高齢者の通いの場へ出向き、身体計測やフレイルチェックなどを行い、フレイル予防の講話を行いました。講話では地区ごとの健康寿命や健診結果の特徴をお話しすることで、高齢者の方に

自分の住んでいる地区の健康課題を知ってもらい、自分の介護予防についても学んでいただきました。また、通いの場だけではなく、その地区を担当する民生委員さんやケアマネージャーさんにも地区の分析結果をお話しする機会をいただきまして、地区づくりに役立てていただくことができました。このように地区分析の結果を介護予防に役立てていくということはなかなか今までしてこなかったものでありますので、データを活用しての効果的なフレイル予防というのもまた担当課と一緒に検討していきたいと思っております。

続きまして、評価指標の一部と他部署との連携状況についてですが、この事業は保健事業や介護予防事業をつなぐ役割と考えると、他の部署との連携が大変重要と考えています。今年度も定期的に関係課とも情報の共有や事業の方向性について一緒に検討を行ってきました。法律をまたいで切れ目のない支援ができるよう関係部署や地域住民の方と一緒に取り組んでいけるとよいと思っております。また、この事業が高齢者支援の糸口となるように今後も進めていきたいと思っております。

次にデータヘルス計画の進捗状況について説明させていただきます。関市では平成30年3月に第2期データヘルス計画を策定し、令和5年度までの取組期間として関市国民健康保険被保険者に対する保健事業を実施しています。この計画は関市特定健康診査等実施計画とも合わせて策定をしています。特定健康診査受診率はなかなか目標値には届いておらず、令和元年度は37%まで向上していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で受診率が減少しました。はがきなど個別の勧奨も行い、少しずつ受診率は向上してきましたが、まだ感染症流行前には戻っておりません。治療中で健診を受診しないという方も多いので、治療中の方にも勧奨を行うとともに、医療機関にも訪問し状況把握や受診勧奨などを依頼させていただきまして、連携を強化して受診率向上に今後も努めていきたいと思っております。特定保健指導の終了率は計画策定時よりも徐々に向上してきています。令和4年度からは保健指導専任の保健師を雇用しまして、訪問による面談をして指導を行うことで、指導率の向上を図っています。

次に、保健者努力支援制度（取組評価分）について報告いたします。この制度は保健事業や収納率など医療費の適正化や国保財政の改善に向けた取組指標があり、その達成度に応じて国が財政支援を行う制度です。総合実績では、関市の得点は県や全国よりも高く県内では14位になっております。指標に応じて改善できるところは各係にも共有を行いまして取り組みの見直しを行い、加点が取れるように努力をしております。この指標は国の動向に合わせて毎年変わってきますので、今後も状況を注視しながら取り組みを行っていききたいと思っております。

	最後に人間ドックの報告をさせていただきます。現在人間ドック、脳ドックを受診された方に費用の一部の助成を行っております。助成件数は令和2年度から少し低下をしております、健診受診率同様、新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えがあったと考えられます。脳ドックや人間ドックは、生活習慣病や脳疾患の早期発見にとっても有効でありますので、制度を知らない方のためにも特定健診と合わせて周知を強化していきたいと思っております。
議 長	ただいまの説明について、ご質問、ご意見はありませんか。
	資料の中に、特定健診受診率、特定保健実施率満点190点とありますが、関市は10点で、岐阜県の51.31点、全国の47.69点と比べきわめて低いですが、何か特別な要因はあるんですか。
事 務 局	点数は4年度の努力支援制度のもので、コロナウイルス感染症を加味して令和元年度の指標で補正をされているというのがまず条件なんです。受診率だけでなくメタボリックシンドロームの減少率だったり、前年度と比較してどれだけ受診率が伸びているかということも国が計算をして出してくる点数です。単に受診率だけではなく全体から見て順位が何位のところにあり、前年度からどれだけ伸びているかなど、いくつかの指標を加味して点数が出されているところになりますので、それを含めて見ると、やはり関市としては点が取れなかったという状況になっています。補正された点数でありますので、また該当年度の数値での評価に戻った時に、その時の状況を注視していきたいと思っております。
議 長	平均に比べると2割ぐらいの数字なので、そのあたりが気がかりだったんですが、そんなに気にする必要はないですか。
事 務 局	努力しなければいけないところではあるのですが、指標も前年度から何%伸びたかというそのパーセントも、国も高く指標を定めておりますので、なかなかそれに届かないというところもあります。そのため全国でも半分ほどしか点がとれていないのではないかと思います。難しい加点状況でありさらに努力が必要なこともあるところだと思います。
議 長	医療関係者の方、ご意見あればお願いします。

- 2 号 委 員 特定健診の受診率が低いのは、だいぶ前から課題なんですけど、なかなか難しいですね。定期受診されている方で特定健診を受けていないという方については、なるべく当院の方でもお話をし、定期の採血とは別に尿検査等もありますというようなことでお勧めしました。ちょっとでも結果がよくなっているといいなと思います。
- さきほどハイリスクアプローチというのがありましたが、地域ごとの健康状態の課題等を把握してということでしたけど、これは実際どのように把握しているんですか。いらっしゃった人だけのことか、それともデータか何かから抽出して地域ごとにそういうデータがあるのか教えていただけますでしょうか。
- 事 務 局 分析としては、保険年金課にある KDB システムという医療や介護や健診のデータを総合して入力されているシステムがありますので、そちらで地区ごとに色々な面から特徴を分析して出しております。さらに実情としてこういった場に出向いて実際に体力測定をやったり、チェックリストをやるということで地域の健康を把握しているような状況です。
- 2 号 委 員 参加者だけではなくて、全体的なデータで出ているということですね。
- 事 務 局 はい、そうです。
- 2 号 委 員 その地域の医療機関にそういう情報があると何かしら参考になるかもしれないですね。たとえば私の医院のまわりではこういう課題があるとすると、もちろんその地域の人が全部私の医院にいらっしゃるわけではないですが、自分としてももう少し取り組まなければいけないんじゃないかと何か気づきになるかもしれないなと思ったので、医療機関にも情報があるといいのかなと思いました。
- 事 務 局 ぜひ来年度参考にさせていただきます。
- 2 号 委 員 高齢者の保健事業と介護予防のハイリスクアプローチについて、大変参考になりました。最近、コロナの間、なかなか外に出なかったという方の褥瘡を見せていただくことがたびたびありまして、本来であれば介護保険制度を利用して受けた方がいい、包括支援センターにみてもらえるといいという患者さんが立て続いている、ご家族にお話すると介護保険制度自体をあまり知らなかったということがあって、簡単には紹介するんですが、最初の一步がなかなか踏み込めていないのかなと。我々が介入するのに最初のステップの知識が完全に知られて



	いないというのがあって、より一般的に知られるといいなと思っています。
議 長	その他ご質問等あればお願いいたします。
1 号 委 員	人間ドックの助成のことですが、ホームページを見ればいいんですが、なかなか見られない人も多いので、もっとPRしていただけるとありがたいと思います。あと、がん検診ですが、胃カメラは2年に1回のことですが、私は去年胃カメラをやり、今年もやりたかったんですが、2年おきですからだめですよということになったんです。それである病院へ電話して胃カメラだけやらせてくださいと言ったら、バリウムをやって引っかけたら胃カメラをやると言われました。その1年前に胃カメラをやった時は、1年に1回は検査しないとイケないと先生に言われたので、1年に1回胃カメラをできないかなと思います。あと、もう少し助成金が多いとありがたいなと思います。
事 務 局	人間ドックについては、周知はたしかにインターネット等見られない方もいらっしゃると思うので、それ以外の方法でも工夫しながら勧奨の方を広げていけたらと思っております。補助の金額についても、他市では金額の半額であったり、定額だったり色々な助成の方法をとっているところもありますので、そうした傾向や近隣の病院の金額も見ながら検討していきたいと思っております。
市民健康課長	胃がん検診についてお話をいただいたので、現状をお話しします。関市健診という受診券で受けるものは、カメラは50歳以上で2年に1回というルールになっておりまして、バリウムは毎年40歳以上の方が実施していただけます。これは国のがん検診の指針に基づいてルールが決まっています、それに基づいてやっているもので、2年に1回というのは科学的な根拠などもあって、リスクと効果を勘案し、胃カメラは負担もあるものですし、やればよいというものでもないということで、間隔が決まっております。そのあたりどうしても気になる症状があれば、検診とは別で病院に行き、必要であれば毎年胃カメラをやっていただくというようなことが今できるやり方かなと思っております。自己負担の問題は市町村によっていくらにするか決められますので、関市の場合、自己負担ワンコイン500円、胃カメラの方は1,500円取らせていただいておりますが、そこはまた近隣の状況なども見ながら検討していきたいと思っております。

議 長 | 私も今初めて知ったということも多々ございますので、事業周知の方色々と工夫していただいております。

その他、ご質問、ご意見よろしいでしょうか。

それでは、ご意見ないようですので、議題6について、これで終わります。

それでは、以上をもって本会議に付議されたすべての議題の審議が終了したことを報告し、進行を事務局にお返しします。

午後2時40分閉会